

未来創造特別委員会の取り組みを振り返ります

損保労連では、48期(2013年9月)から、「未来創造特別委員会(未来創造PT)^(※)」を立ち上げ、一人ひとりが将来の環境変化を見据えためざす働き方を考え、行動を変革していく取り組みについて論議を行ってきました。今回、あらためてこうした取り組みの重要性について皆さんにお伝えするとともに、3年間のPTの活動を振り返ります。

(※) ……「将来の環境変化に柔軟に対応し、よりいきいきとやりがいを持って働くために、ありたい姿を主体的に考え、具体的な行動にチャレンジしていくことの重要性」に関する気づきを組合員に提供すること」を目的に設置された会議体です。また、多様な立場からの意見をもとに論議していくため、男女同数の参画により運営しています。

1. なぜ「めざす働き方」を考えることが重要なのか？

長い仕事人生、「働きがい・やりがい」を感じながら、充実して働きたい！



あなたが「働きがい・やりがい」を感じながら充実して働いている姿、「こうありたい、こう働きたい」という姿を具体的に表したものが、それが「めざす働き方」です。「めざす働き方」を考え、しっかりと認識することで、そこに到達するための道のりや取るべき行動が明確になってくることでしょう。

皆さんのなかには、忙しくて「めざす働き方」を考える暇がない、あまり考えたことがない、という方も少なくないのではないのでしょうか。しかし、そのままでは「働きがい・やりがい」を感じながら充実して働く自分に到達することは困難です。

皆さんも、「めざす働き方」を考えることから始めてみませんか？

そして、「めざす働き方」を考えるうえでは…

✓ 自分にとっての働く意義や価値観を重視することも重要！

近年、終身雇用・年功序列などの日本的雇用慣行の見直しが進んでいます。また、ビジネスモデルの変化により求められる業務・スキルも変化しています。こうしたなか、めざしていたポストや職種を担えない、あるいは積み重ねてきた経験や知識が十分に生かせないと感じることで、「働きがい・やりがい」を実感できなくなっている人も見受けられます。したがって、「外的キャリア」とよばれる昇進、昇格、資格などを重視するだけではなく、「内的キャリア」とよばれる自分にとっての働く意義や価値観、性格・スキルなども同様に重視することが重要です。

✓ 一人ひとりが、自分のこととして考えることが必要！

何に「働きがい・やりがい」を感じるかは、人によって異なります。したがって、会社や労働組合がさまざまな人にぴったりの「めざす働き方」を一律的に示すことは困難なのです。つまり、あなたの「めざす働き方」を持つためにはあなた自らが考えることが必要なのです。

✓ 環境変化を想定しながら考えることや環境変化に応じて適宜見直していくことが重要！

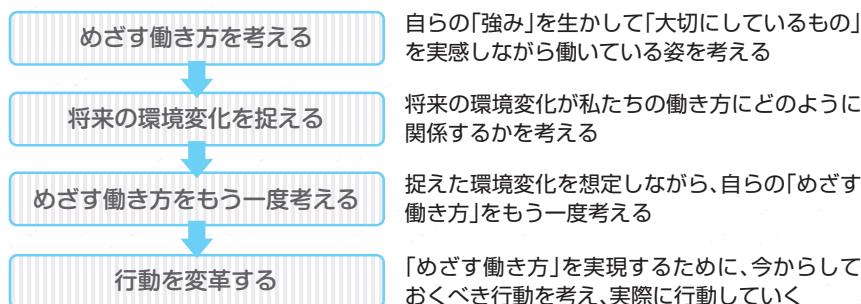
私たちの働き方は環境と大きく関係しており、環境変化によって「めざす働き方」の実現が困難になったり、これまでの「めざす働き方」とは異なる働き方をめざしたいと考えるようになったりすることもしばしばです。したがって、将来生じる環境変化を想定しながら「めざす働き方」を考えることはもちろんのこと、一度考えた「めざす働き方」を環境変化に応じて適宜見直していくことが重要です。



私たち一人ひとりが、自らを取り巻くさまざまな環境変化を捉えて「めざす働き方」を考え、その実現に向けて取り組んでいきましょう。

2. 「めざす働き方」を自ら考え、実現していくためには？

「めざす働き方」はどのように実現していく？(検討のプロセス)



環境変化を捉えて、これを繰り返していく！



環境変化によって、「めざす働き方」やその実現に向けた行動が変化することもあるので、新たな環境変化を捉えて、**上記のプロセスを繰り返していくこと**が大切です！

未来創造PTの振り返り

未来創造PTでは、「将来の環境変化に柔軟に対応し、よりいきいきとやりがいを持って働くために、ありたい姿を主体的に考え、具体的な行動にチャレンジしていくことの重要性」に関する気づきを組合員に提供すること」を目的に、3期にわたって以下のような取り組みを行ってきました。

48期(2013年9月～)

各単組からの参画メンバーで、私たちを取り巻く将来の社会や産業、働き方に関する環境変化について論議したうえで、「めざす働き方」の考え方について、検討をすすめました。

また、モデル例(未来の私)の策定を通じて、本取り組みを組合員に展開していくうえでの課題についても把握することができました。



49期(2014年9月～)

「組合員一人ひとりが将来の環境変化を見据えながら、自ら『めざす働き方』を考え、行動を変革していく必要性の理解浸透を図ること」を目的に、環境変化や「めざす働き方」を考え行動を変革していく必要性について、GENKIで「10年後の未来予測レポート」と題した将来の環境変化についての情報提供を行うとともに、自らの「めざす働き方」やそれに向けて必要となる行動の検討プロセスを体感するために、5～7月に全単組で一斉職場会を行いました。



50期(2015年9月～)

“組合員の行動変革に向けた取り組み”の定着に向けて、組合員に「自ら『めざす働き方』やその実現に向けた行動を考えていくプロセス」を伝えるツール類を単組へ提供したほか、運動の定着に向けた産別としての取り組みについて論議しました。また、今後とも取り組みの必要性を組合員に継続的に伝えていくことを確認しました。



今後の取り組み

この未来創造PTでは、職場会の展開やさまざまなツールの作成など産別全体で行った取り組みを通じて、組合員一人ひとりの行動変革の実現に向けて、単組がさらに力強く取り組んでいくための土台づくりができたと考えています。

今期をもって未来創造PTは終了しますが、今後も、損保グループ産業で働く組合員全員に行動変革に取り組む意識が真に定着し、実際の行動までつなげられるよう、各単組が主体となって、継続的に取り組んでいきます。



3期の取り組みの論議をもとに、「めざす働き方」を考えるためのツールや「未来の私」、将来の環境変化の情報など、一人ひとりの「めざす働き方」の実現に向けたサポートとなるサイトを、損保労連ホームページ上に開設します!